



としょだより



ようこそ！みんなでおいでよ！

図書室へいらっしやい特集



みなさんこんにちは！4月から福井赤十字病院に来られた方、そして今年もよろしくお願ひしますの方、大変お世話になっております、図書室です！今回の「としょだより」では、あらためて図書室の紹介（何が出来るの？何をしてくれるの？）をしていきたいと思います。日々多忙な業務の中、また慣れない環境の中、図書室に行こうというところまではなかなか難しいかもしれません。ですが「ちょっとレポート書かなアカンねん」「学校で習ったこと忘れつた…」「医学や看護の最新知見を手に入れたいですわ！」「という時がきつと…いや必ず来ます（来ますよね？）。そんな時に思い出してほしいのが図書室の存在です。何かしら、小さなことでもお手伝いできることがきつとある…と思って毎日図書室で仕事をしています。学習・研鑽のみならず、ちょっとした気分転換に…ほっと一息つきに図書室を利用いただければ嬉しいです。皆様のご利用をお待ちしております。



図書室は栄養管理等の3階、講堂の横にあります。病歴室と隣接しています。
開架時間は平日8:30-17:00ですが、時間外には防災センターで鍵を借用していただければ365日24時間利用が可能です。

現在、冊子体は医学雑誌（リハビリ等含む）37種、看護雑誌25種、医事雑誌2種を定期購読しています。また海外誌は主に電子ジャーナルにて契約しており、また国内雑誌に関してはメディカルオンラインで1600種以上の雑誌が閲覧できるサブスクリプションサービスに加入しております。

リモートアクセス（院外での利用）に対応している物もございますので、使い方など不明な点はいつでも図書係にお尋ねください。

・本の貸し出しについて

貸出しの冊数に上限はありませんが、貸出期限は2週間です。期間内に読めるように借りていただければと思いますが、貸出しの延長も可能です。その場合は図書室（内線6450）まで連絡をお願いいたします。

貸出しは右の写真のデスクに貸出票がございますので、そちらに記入していただくか、係員が在室の時は職員番号を伝えて本を渡してもらえれば登録をいたします。

貸出票には忘れずにお名前と本に張られた10桁のバーコードの数字を記入してください。記載漏れは本の紛失の原因となってしまいます。



・PCの利用について

図書室には共用のネットワーク接続PCが1台ございます。こちらのPC、または院内Wi-Fiを利用した端末からIP認証にて各種電子ジャーナルの閲覧が可能です。院内から閲覧できるジャーナルのリストは病院HPトップページ最下部「電子図書館」より図書ページに入っていただき「洋雑誌所蔵目録」から海外ジャーナルのリスト、「メディカルオンライン」から国内雑誌の閲覧が可能です。



裏面に続く



分からない事は
図書のおっさんに
聞いたらいいですガー





気分転換になるいろいろな本もありますよ。

・図書室にない、閲覧できない資料はどうするの？

もちろん福井赤十字病院で所蔵している雑誌等は世の中の情報のほんの一部でしかありません。しかし全国の図書館が所蔵のデータを共有し、それらに収録されている文献を「文献複写」という形で共有利用するシステムがあるのです。

他施設の資料を請求するには当然料金が 필요한のですが、福井赤十字病院では職員の個人負担が発生しないよう、図書費用で賄っております。

院内で入手できない、どうしても必要な情報に関しては取り寄せに応じます。

申し込みの方法は以降のとしよだよりで説明、または図書室まで問い合わせください。

・図書室にある本や閲覧できる電子ジャーナルの情報はどこで見るの？ 資料の検索などその他諸々、教えてもらえるの？

図書室で定期購読している雑誌の入荷は、月に一度「新刊情報」として印刷物ならびに電子カルテ内圖書の項目でお知らせしています。

不定期発行ですが「としよだより」でも、図書に関する情報やおすすめの本、気軽に目を通していただける読み物などで情報を発信しております。

とはいえ、紙面だけでは十分な説明には物足りない部分もありますし、実際にPCを操作しながらの説明のほうが伝わりやすいと思いますので、遠慮なく図書室にお越しいただいて、質問や依頼をいただければと思います。

時間は出来る限りあわせめますので、お気軽に連絡くださいね。



主に2005年以降の雑誌が保管されています。

図書係のおすすめ

小児看護誌連載「看護系絵本堂」

図書室にある看護・医学雑誌にはいろいろな読みやすい、専門知識を必要としない読み物が掲載されています。そんな中から今回は小児看護で連載されている「看護系絵本堂」を紹介いたします。

皆さんは絵本は好きですか？子供が読むもの、子供に読み聞かせるもの…だと思っはいませんか？僕はそのようには思いません、むしろ大人こそ読むべきだと。

絵本において言葉、文章は必要最低限にそぎ落とされたシンプルなもの。だからこそ伝わるものがあり、そして想像力を刺激してくれるものではないでしょうか。

ここで紹介されている絵本たちの多くは子供が主人公、または子供の立場に置き換えて読み進められるものばかりです。そして大人である我々に置き換えても、また学びや気づきの多い内容を感じさせてくれる紹介コラムです。あらずじだけでグッときます。

大切なものは、シンプルなもの。絵本はそれを思い出させてくれる魔法なのではないでしょうか。（ご家庭に眠っている絵本、図書室に寄贈いただけたら絵本コーナー作りたいです）

小児看護 3
2024

小児看護技術の学び
前編
子どもの権利保護の実践に向けて



小児看護（へるす出版）

図書室には2005年以降を所蔵

おまけのミニエッセイ「図書係の独り言」【道は険しくとも、笑いながら歩こうぜ！】

つい最近、新型コロナウイルスが5類に移行して1年が経過したそうです。みなさんの生活に何か変化はありましたか？医療の立場としては、新型コロナウイルスがなくなったわけではないので、引き続き感染対策等十分に留意していかなければいけないのだと思います。それでも当初と比べればだいぶ世の中も明るくなったのかなと感じています。新幹線も福井まで延伸し（サンダーバードとしらさぎは戻ってきてほしい！）、休日ともなれば駅前には観光客で大変な賑わいを見せているようです（僕は人混みが苦手な陰キャなので1回しか訪れていませんが）

そんな中で、コロナの真っ最中は院内各スタッフから口酸っぱく牽制されてきた音楽イベントを、満を持して再開しようとしています。失われた4年の時間を取り戻すべく、着々と準備を進めています。

8年で30回以上アコースティックイベントを行ってきた響きのホールは駅前再開発で取り壊され（思い出の場所を返して！）今回はじめて田原町ミュージズで開催します。ようやく、といった思いで胸がいっぱいです。

人間誰でも限られた時間の中でやれる事なんてそう多くはないと思います。そんな中でコロナに邪魔され、自分の気持ちまで囚われていましたが、そろそろ（慎重にはありますが）一歩踏み出す時が来たのだと感じています。アフターコロナはどうなるのか。踏み出せばそのひと足が道となる、迷わず行けよ、行けばわかるさ！



田原町ミュージズ外観。駅チカ越えて駅敷地内です。



ガラス張りの会場からは電車が通る姿も。



その他の

お知らせ

・大変申し訳ございませんが、月水金の午後は図書係が不在です（病院で透析してます）。依頼、質問等があれば、図書室入りロデスクにある「不在時依頼票」に記入の上、係員の机の上に置いておいてください。ご不便をおかけいたしますが、よろしくお願いいたします。

・利用の少ない電子ジャーナル、冊子体に関しては中止勧告の対象となります。特に今年は円安の影響が例年以上に大きくなる事が考えられます。夏以降、各部署に伺いを立ててまいります。よろしくお願いいたします。

読んでくれてありがとう！
次回もお楽しみにー

